

## 新潟駅・豊栄駅の業務委託を提案

### 2017年度システムメンテナンス計画の実施について提案団体交渉

新潟地本は3月8日に団体交渉を行い、支社側より「駅の作業体制見直し」及び「駅業務委託のさらなる推進」について提案を受けました。

側は、新潟駅高架化第一期開業に合わせた新幹線・在来線同一ホーム乗換えの実施により、乗換改札口の新設やホームドア扱いが発生することから、4月15日より新潟駅で+12として、

その後6月1日に同業務と西口改札をJNBに業務委託することで新潟駅△21、7月1日には豊栄駅の業務を委託し△6とするとしました。

#### ◆

新潟駅の委託実施が6月とされた理由を地本交渉団が問うと、支社側はゴードンウィークの多客対応を挙げ、まずは社員で作業ができるようになってからJNBへ委託したいとしました。

#### ◆

以降にどうなるのかについては、6月に委託するの意向もあり得るとの考えを示しました。

一般異動とはいえ施策に伴う異動であることは明白であることから、もっと早く提案できなかったのかを指摘すると支社側は、施策のためだけではなく新潟駅全般の業務を担うための異動であると答えました。



新潟駅西口は出改札業務を委託、勤務形態は変わらないとしました。また豊栄駅も勤務形態は変わらず、窓口や駅の営業時間にも変更はないとしました。

#### ◆

働く者にとっては第一期開業に伴う業務内容を知りたいが、いつ明らかにするのかを質すと支社側は、業務内容はきちんと周知しているとしました。

未だに現場での周知は、開業まで1ヶ月もないうちで訓練もされていないのが現実であり、人数だけ提案されても判断のしようがないと指摘すると、支社側も関連個所の確認はするとしました。

## 電力職場に標準数の要員確保を!

電力職場では現在、慢性的要員不足に加え、各種研修や出張、会議等の理由により、作業、検査を組むに組めない状況が常態化しています。

さらには今冬期には、ピームの積雪状況把握のため列車巡視を指示された結果、地上障害復旧のため、その深刻さを増している。設備職場においては相次ぐ効率化施策により要員が削減されてきた一方で、社員一人あたりの作業量は増加の一途を辿っています。さらに重大な輸送障害発生時の都度実施される緊急の設備一斉点検や、冬期における対応などが重なることで業務量は飽和状態にあります。

## 駅検査業務の果たしてきた役割を問う

### 申し分 新潟駅検査の業務廃止についての申し入れ

1月30日に開催した団体交渉において支社側より「検修体制の見直し」について提案を受けました。

115系の分割併合作業の解消を理由に、4月15日の新潟駅高架開業にあわせて新潟駅検査を廃止するというものです。

しかし一方で、新潟支社で運用される主力形式が新系列車両に置き換わった現在でも不具合は発生していません。

不測の事態に即応してきた駅検査業務の廃止により、判断の遅れや足ロスの影響を与える今日において、

## 申し分 申し入れ項目

1. 新潟駅検査の位置付けについて会社側の考えを明らかにすること。
2. 新潟駅検査廃止後、現在と同様の安全安定輸送・質の高いサービスの提供ができるか明らかにすること。
3. 新潟駅検査がこの間行っていた判断業務は誰がどのように行うのか明らかにすること。
4. 派遣修繕で発生する足ロスがお客様に与える影響及び受け止め方について会社の考えを明らかにすること。



## 申し分 申し入れ項目

1. 新潟電力技術センター、及び各メンテナンスセンターに標準数通りの要員を配置すること。
2. 今後の電力職場における未来像を明らかにすること。
3. 回答は2018年3月31日までに書面にて行うこと。

## 新潟地方本部で新たな仲間が加入!



115系の分割併合作業の解消を理由に、4月15日の新潟駅高架開業にあわせて新潟駅検査を廃止するというものです。

しかし一方で、新潟支社で運用される主力形式が新系列車両に置き換わった現在でも不具合は発生していません。

不測の事態に即応してきた駅検査業務の廃止により、判断の遅れや足ロスの影響を与える今日において、

申し分 申し入れ項目

申し分 申し入れ項目